

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

# 同友

12<sup>2024</sup>月号

vol.701

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU

特集

## 第30回福岡県中小企業 経営者フォーラムダイジェスト

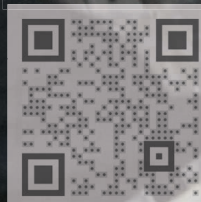
福岡県中小企業家同友会

 広報情報部  
Facebook

21世紀型  
自立型  
企業づくり

## 農業の新しいビジネスモデルの構築に 果敢に挑む ～自ら追い求める2つの目的～

す どう つかさ のうぎょうにん  
須藤 司 氏 (農業人)



[デザインQR]



# 特集 第30回 福岡県中小企業経営者 フォーラムダイジェスト



## 同友会 3つの目的

### よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

### よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

### よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

## 今月の表紙



農業人 代表者  
**須藤 司**氏（のおがた支部）

詳しくは本誌7ページへ

私が須藤さんを紹介します!



株式会社福祉人 代表取締役  
**伊藤 孝司**（ひびき支部）

創業者と後継者で相互に紹介し合うというお話を頂き、大変緊張いたしますが、須藤司さんをご紹介させていただきます。  
須藤さんは、自身が創業された株式会社福祉人を後継者の私に任され、今は農業人として日々努力されておられますが、今でも時には厳しくまたある時にはさらに厳しく(笑)、経営のご指導を頂いている方です。  
創業間もない頃の福祉人は、従業員も十数名で給与も手渡しの時代でした。毎月須藤さんが従業員一人一人に頭を深々と下げながら

ら手渡ししているのをみて、須藤さんの素晴らしい人柄を感じていました。  
また、社長時代は朝早くから各事業所を毎日訪問し、従業員への声掛け、事業所の清掃などをされており、本当に会社や従業員を大切にしている姿がとても印象的でした。  
今は事業として成立する農業を目指して、日々真つ黒になりながら米作りをしております。なかなか苦労が絶えないようですが、それでも持ち前のやる気と決めたらとんとやる精神で頑張っております。  
福祉人の事業所でも須藤さんのお米を提供しており、皆さんから美味しいと評判です。  
また同友会ではおがた支部で増強に力を注いでおられ、昨年総会で表彰されておられたのも須藤さんの人柄のなせる業でしょう。  
今後の須藤さんのますますのご活躍に期待します。

## 撮影後記



農業人の須藤司さんを遠賀町にお訪ねいたしました。現在、42歳。4年前に農業人を立ち上げました。7町歩(21000坪)の田圃で米の耕作に励んでいます。明日の糧・創造事業として位置づけ10年後を見据えて楽しく米作りに励んでいる、須藤さんです。師匠から今年はよく出来たとお褒めの言葉を頂いたそうです。表紙の素敵な写真が撮れました。ありがとうございます。撮影・文/株式会社コスイメージ 富谷 正弘(玄海支部)

## フォーラム開催終了の挨拶 実行委員長 中原亜希子



中原実行委員長

参加人数466名と大変盛り上がったフォーラムが開催できました。皆さまは何について問われ、自社に持ち帰ってどんな取り組みに繋がっているでしょうか?新しい時代を生き抜く経営のために決めたことを実践していきましょう。今回の分科会は新たなチャレンジもしましたが、課題も多く見つかりました。今年の取組みが、来年のフォーラムにも反映できるように引き続きまいります。ありがとうございます!

## 基調講演

あなたの会社は今のままでいいですか? 変わりたいから同友会に入会したんだろ? 同友会で学んだ情報を価値に変えていく

報告者 宇佐見 孝氏  
宇佐見合板株式会社 代表取締役(愛知同友会)



宇佐見 孝氏

実体験と企業事例を交えた具体的な内容は、参加者に多くの示唆を与えました。宇佐見氏は、自身が大病を患い、3か月間の休養を余儀なくされた経験を語り、社員たちが奮闘して会社を支えたことから、「自立型社員」の育成が「自立型企業」には不可欠であると強調しました。そのため、社員が自社の価値に気づき、理解するための社員教育の重要性も訴えました。

さらに、変化を続けて企業を存続させるための事例として、愛知県同友会に所属する株式会社BeBlockを紹介されました。BeBlockは、2002年に松村印刷所の3代目後継者である松村氏が創業したシー・アール・エムを前身とし、官公庁向けの印刷業から一般企業向けの「販売促進支援業」へと事業を転換しました。この変革を通じて、同社は時代の変化に対応し成長を遂げています。

宇佐見氏は「中小企業が生き残るためには、自社の価値を明確に発信し、他社との差別化を図ることが重要」と強調されま

## 第1分科会

新時代を生き抜く経営者の覚悟  
同友会らしい企業つくりで未来を切り拓く

報告者 加藤 明彦氏  
Eiベックス株式会社代表取締役会長  
(中同協 副会長・愛知同友会相談役理事  
中同協 人を生かす経営推進協議会代表)



加藤 明彦氏

加藤明彦氏は、自社の経営課題解決のため、同友会に入会しました。古参社員と

## “デザインQR”とは?

月刊同友675号より、表紙・自立型企業づくり・アンケートは、絵柄付きのQRコードを採用しています。スマートフォン等で読み取る場合は、従来の白黒QRコードと同じアプリを使って読み込むことができます。※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



の信頼関係不足や社員が集まらない、定着しない、言わなきゃやってくれない会社の風土といった問題に直面し、同友会での学びを通して、経営を変革する糸口を見出しました。

共同求人委員会に参加し「労使見解」に出会い、重要性を深く理解し、経営者としての姿勢と覚悟を再認識しました。経営環境が厳しくても、社員の自発性を引き出す企業風土こそが、企業の成長に不可欠であると確信するようになりました。

また、同友会との出会いは、加藤氏の経営スタイルを大きく変えました。同友会の理念に基づいた経営の重要性を学び、謙虚さを持ち、社員と共に成長する姿勢を重視するようになりました。

経営指針の成文化と実践が同友会活動の核心です。経営指針を全社員と共有していく過程が、最大の「共有」であり、社員の自主性が向上し企業の持続的な成長につながると思っています。

リーマンショックの経験から、加藤氏は「人を守る」ことの重要性を学びました。社員の雇用を守る覚悟が、企業の早期回復をもたらし、信頼関係の構築にもつながったと振り返ります。

加藤氏は、自主・民主・連帯の精神を基盤とした経営を実践し、社員を最も信頼できるパートナーと考え、共に成長するこ

て、統計資料を基に解説されました。

松井氏は、「危機的情勢であるが、危機感がなければ変化は起きないし、むしろ危機の時ほど新しいものを創るチャンスであり、『経営の問題を経営課題に変える』ことが大切である」と言います。

例えば「売り上げが減り続けている」という問題を「リピーターを増やす」という課題に変えて対応を検討する、という方策です。また、生き残るために、価格決定権をもった企業となることが必要、また生産性の向上より付加価値の創造が重要、と強調されました。社会の問題を地域の課題とし、それを自社の課題に置き換えることで、自社を良くすることがひいては地域を良くすることにつながります。危機を正しく認識した上で自社の方向性をどのようにして定め実践するか、示唆に富むご報告でした。

記録 西村法律事務所  
所長 西村 潤(糸島支部)

#### 第4分科会

10年ビジョンを2年で達成できた秘訣!!  
新しい時代に必要とされる能力とは、

報告者 太田 恵理子氏  
株式会社ハピレテ 代表取締役(徳島同友会)

とで、強固な企業体質を築くことができると確信しています。社員の自主性を促進することで、企業の未来を切り拓いていくことができると締めくくりました。

記録 株式会社 彩いろり  
代表取締役 林田 選(東支部)

#### 第2分科会

減災意識が新たな地域活性化の未来を創る  
大牟田市の豪雨災害から見てきたこと

報告者 富山 博史氏  
大牟田ベンチャーのまち株式会社 代表取締役  
株式会社カンケループ 他1社 (大牟田支部)



富山 博史氏

令和2年7月に起こった、大牟田市豪雨災害を経験した富山氏。被災した後、まぢづくりの会社として何か出来ることはないのかと考えます。今後も起こりうる災害に対して地域とどう連携していくのか、報告されました。

まず豪雨災害後、支援物資をSNSで発信し被災者へ届ける活動「ちよこボラ



太田 恵理子氏

徳島同友会の太田氏は、徳島で障がい児童通所支援、認可保育園などを経営しています。創業時から同友会に入会し、経営指針成文化セミナーに参加し「障がいを宣告されてどん底、絶望的な気持ちでいる家族に光を届けられる存在でありたい」という思いを「おやこを照らす光」という経営理念にしました。

売上は順調に伸びたものの、拡大するにつれ会社は組織崩壊寸前。思い悩んでいた時、先輩会員から「自分と息子、どっちが大事なん？」と聞かれ、この質問をきっかけに太田氏は「自身と向き合います。向き合う中で太田氏は、会社の問題は経営環境や社員にあるのではなく、全てを他責にしていた自分にあるということに気がきました。

他責から自責に切り替わった時、太田氏は2つのことに気が付きます。1つ目は「目的が何よりも大事」ということ。何

という短時間ボランティア活動や、浸水した思い出写真の洗浄などの災害支援活動をされました。この活動から、平時から地域との関わりを持つことの重要性に気づき、「関係人口を増やすこと」をテーマに活動を始めます。

災害後は、まず自社の事業継続力強化計画(BCP)を作成します。さらに、これからの新規起業家は防災や減災を意識した人が必要で、そんな人材が増えれば災害に強い街づくりが出来ると考えました。そして、地域資源を活用した減災対応型起業家育成事業を休眠預金活用事業の助成金を活用して行います。10年以上空き店舗だったところをチャレンジセンターとして開設し、そこで起業家や行政の方が勉強会を行い、いろいろな人が関われる場所となっています。

富山氏は防災士の資格を持つっており、防災×カフェの取り組みを通して、防災・減災について多くの人に考えてもらう取組も報告されました。我々同友会理念にもある「国民や地域と共に歩む中小企業をめざす」をかたちにした、まさに地域を巻き込んで活動されています。

グループ討論では、事業継続力強化(BCP)とこれからの自社について討論を行い、日常から災害リスクについて考え、対応策や訓練を行う重要性について

のために起業したのか、何のために経営しているのか。自分とどこ向き合う?

2つ目は「目的は口に出せば叶う」ということ。目的を語り、思いを伝えていけば、共感する人が自分の思いを発信してくれるようになります。ビジョン達成に向けて加速していくことができます。

そして、新しい時代を生き抜いていくために必要な能力とは? 太田氏はそれを「自分を信じる力」と語りました。自分の可能性を制限しているものはないか? 常に自分自身に問いかけをしていくことが、新時代を生き抜く経営者に求められることなのではないでしょうか。

記録 税理士法人九州パートナーズ  
代表社員 安部 拓二(福岡支部)

#### 第5分科会

小さな一歩が大きな未来を創る  
一人起業家の生き抜く戦略

報告者 梶原 多真季氏  
株式会社 Link Solar 代表取締役(西支部)



梶原 多真季氏

気付きを深められた分科会となりました。

記録 株式会社九秀製本ドットコム  
専務取締役 宮地 恭平(青年支部)

#### 第3分科会

時代に対応し、変化を創れる「価格決定権」をもった企業づくりに取り組もう

報告者 松井 清充氏  
中小企業家同友会全国協議会 参与



松井 清充氏

福岡で10回目という節目にあたる情勢勉強会、前半は情勢解説、後半は情勢を踏まえ、経営戦略と実践、今後の展望についての報告でした。まず、日本経済の長期的な停滞やコロナによる政治・経済の変化の加速、世界経済における地政学的リスクや米国の金融引き締め、中国の景気減速、さらに気候変動、デジタル化の急速な進行、人口減少と高齢化社会などの影響について

第5分科会は、一人起業家や個人事業主に元気を与え、背中を押してくれる報告内容となりました。

梶原氏はコールセンターを退職し、暫くは専業主婦をしていましたが、ご主人の何気ない一言に奮起して一人起業家を目指すことになりました。

当初は、研修講師やキャリアコンサルタントの資格を活かして一定の収入を得ていましたが、時のコロナ禍によって売上ゼロの憂き目に遭います。そんな時、知り合いの会員を通じて同友会を知ることになります。当初は自分にとっては敷居の高いものと感じていました。それでも、多くの会員と接するなかで、あらためて自分は何がしたいのか、どんな経営者になりたいのかと自分に問い続け、心の葛藤や迷いがありながらも、2023年4月に入会することになります。

そして例会やブロック会で学びを深め、先輩会員からのアドバイスも受けながら2023年8月に株式会社 Link Solar を設立しました。

当初は、勢いで法人設立したものの、どういう方向に進めばいいかわからなかった梶原氏ですが、西支部での経営指針書(ワンシート)作成会に参加したことが、「(良い)経営者になるための」のターニングポイントとなりました。そこで経営理念





## 農業の新しいビジネスモデルの構築に果敢に挑む

### 「自ら追い求める2つの目的」

見学分科会の醍醐味である社内見学からスタートしました。新設したばかりのショールームやフリーアドレス制を取り入れたスタイリッシュなオフィスは大反響。主力事業のRO水の試飲も含めて、随所



報告者 庄野 道彦氏  
株式会社ゼロ 代表取締役(福友愛支部)

### 創業理念と現代経営の融合

「経営再建の物語」

#### 見学分科会

とビジョンをつくり上げ、今では成り行き経営からの脱却を志向し、そのための企業価値を高める戦略や事業拡大戦略を立案し事業展開を加速させています。最後に「二人起業家だからこそ、同友会を活用しましょう！同友会を活用して、皆で未来を生き抜いていきましょう！」と力強く結ばれました。

記録 河邊 浩之(北九州支部)  
代表 河邊 浩之(北九州支部)

に工夫が光る職場を体感することができました。庄野氏は、前職での取引先であった(株)ゼロに縁あって入社します。しかし、入社10年目の取締役就任直後に資金ショートが発覚。突如として倒産の危機に直面します。入社前から一貫して営業職だった庄野氏は、経験で培った下地を武器に、経営再建の道筋を立て、実践を重ねていきます。倒産の不安から眠れない日々。耐える中で自問自答した結果が、代表就任後の新しい経営理念へと繋がりました。正しい現状認識のもと、守るべきもの、変わるべきものを見極め、指標を読む力が大事だと語ります。当初きわめて困難だと思われた経営再建でしたが、庄野氏の計画には勝算がありました。不都合な事実を、都合よく解釈しない経営者の「覚悟」と「志」があったからこそ前進できたのです。再建後も挑戦は続きます。未来に向けて、現在は事業拡大のための設備投資に加え「人材」育成へ取り組んでいます。会社の実態は人。人材は人的資本の質であり、真の適材が会社の財産である。実践の先に得た気づきを共有いただきました。

記録 株式会社鐘鈴  
代表取締役 藤波絵里子(東支部)

### 交流会

「参加者同士の更なる交流を目指して」

市丸代表理事の挨拶の後、全6分科会の報告者と座長に登壇いただき、報告者の紹介と分科会報告を行いました。各分科会とも「今こそ、問う！」というフォーラムテーマに非常に学びの多い報告でした。その後、「ちんどん鈴乃屋」(新井理恵子氏 かすや支部)と小林副代表理事によるパフォーマンスで会場の盛り上がりが一気に頂点へ。小林副代表理事の乾杯の後、各分科会、また支部を超えて、終始活気ある交流が続き、佐賀同友会、香川同友会、青年経営者部会のPRタイムもあり、あつという間の時間でした。最後は中原実行委員長の御礼の挨拶で交流会を終了しました。

立食での開催ではありませんでしたが、ペテラン会員さんから会歴の浅い会員さんまで一同に会し、笑顔と活気に満ちた交流会になったのではないかと感じています。たくさんのご参加、ありがとうございました。

記録 和新生業株式会社  
代表取締役社長 森 仁志(東支部)



農業人 代表者

## 須藤 司 氏「のおがた支部」

現在の日本の農業に「一石を投じ、課題を解決したい」と考えています。

### 生い立ち

「お米を中心とした農業に携わっています」と話し始めたのは、今回の取材先の「農業人」の須藤司さんです。福岡県産米「夢つくし」を、委託を受けた土地で種のみから収穫まで一貫してつくり、自社のルートで販売しています。須藤さんは、1982年直方市で生まれます。早くから人生設計を立てていました。まず30歳で起業し10年で後継者に譲り、次なる目標へ進むというものです。

そこで福祉事業で起業することになりました。佐賀県の大学に進み、卒業して下関市の福祉関連の企業に就職します。

### (株)福祉人を設立

須藤さんは2012年に念願叶い、遠賀町に(株)福祉人を設立しました。



農業人のTシャツ

この会社の事業は3つの柱からなります。

- ① 共に歩み(福祉サービス事業)
- ② 共に創り(主に配食事業)
- ③ 共に生きる(生き活きたとした暮らしづくり)

起業して2年目に、厳しかった元上司の勧めで山口同友会の下関支部に入会します。

取材/広報部  
文章/菅原 弘(東支部)  
写真/富谷正弘(玄海支部)



デザインQR



(株)福祉人で策定した基本理念は次の通りです。

**基本理念**

私達は『**拠所創造企業**』です。

**運動方針**

福祉は人、仕事はこころ、それぞれみんな十人十色、今までの歳月を大切に、これからの生活をご支援させていただきます。それを可能にする場所、仲間がここにはあります。

**行動指針**

その人と、その人に関わる「全ての人が幸福」となれるよう、その実現のために本気で考え、しない事は何もありません。

**社長業を移譲**

前述の事業の3本柱の中で、福祉サービスマネジメントと配食（お弁当や喫茶）は順調に展開していきました。

3つ目の柱『共に生きる』において、須藤さんが目指したのは余暇活動のできるムラづくりです。

地域でイノシシ狩りをする目的で猟師の免許を取得しました。しかし心優しい須藤さんには獲物を射止めることができなかつたと告白します。

自給自足を考えているうちに『米作り』というキーワードが浮かんできました。

**環境に影響を受けることなく 農家の生活を豊かにすること**

須藤さんは米づくりを習得するため北海道や秋田の農家に飛び込み、直訴して教えを請うたそうです。「まだまだ新参者ですよ。地域や人によって違いがありますし、スマート農業（ロボット・ドローンの活用や判断をAIに任せる）といつてもすぐに普及するわけでもありません。農業をなるべく使わず、水の出入れなど丹精込めて作ります。そうして実の入りや風味のよいお米ができます」。

**販売ルート**

日本のお米が消費者に届くまでには三つのルートがあります。一つは主流通米です。農家で収穫されたお米は一度JAなどに集められその年の米の出来具合によって価格が決まりスーパーやお米屋さんなどに流通されます。二つ目は政府備蓄米です。冷害などにない米があまり取れない年に困ることがないよう政府が蓄えている米のことです。倉庫にしばらく保管された後、新しい米に入れ替えるときに売られます。そして三つ目は農家が直接売れる米です。1995年に制度が変わり農家が直接消費者に販売することができるようになりました。

10年後継者に譲るといふ人生設計に沿い、一緒に仕事をしてきた伊藤孝司さん（ひびき支部）に継承し、その他の法人も数社設立しましたが、それぞれ社長へ継承しました。自分は10年後の未来を考えて、IT業界と悩んだ末、『農業人』を遠賀町に立ち上げ、米作りの道を進むことにしました。

**農業のビジネスモデル**

従来、米を主食としてきた日本人にとって米の安定供給は大きな課題でした。特に戦後の食糧難の時代は米の生産量引き上げが国全体の課題となりました。昭和40年代にはいると肥料や農業機械の導入が進み、米の生産量が飛躍的に伸びました。その後日本人の食卓の欧米化が進行して『米離れ』が加速しました。米の余剰が発生し農家からの買取価格



米の保冷库



直販の米パッケージ

須藤さんは考え・ストーリーに共感してくれる方に米を販売しています。

「JAより価格を高くすることがポイントです。そうすれば農家の収益向上につながります。いくつかの障害者B型施設と協力して商品を作成しています」。また、これらの活動に共感頂ける協賛企業を募集したところ1日で20社協力を得ました。事業として確立するにはそれらに加え、まず管理する土地を10町にする。それに伴い保管設備の整備などが当面の課題だと言います。

**同友会での学び**

「同友会では、たくさんの学びがありますが、まず『職務分掌』を学びました。組織において各部署や各役職、担当者の行動や仕事を配分して、仕事の責任と所在の範囲を明確にすることです。福祉人では、理念を入会前に策定しました。今度は『農業人』として作成す

より市場での売値の方が安くなるという事態も発生しました。耕作面積の配分や生産調整などが始まりました。

農家の高齢化や人手不足、耕作放棄地の増加、TTPによる競争激化、気候変動とその影響など農業にまつわる課題は枚挙にいとまがありません。

須藤さんは「余暇活動のできるムラづくり」のため、まず農家が収益を上げられる体制にしていければと考えました。そこで、故郷・遠賀で土地を委託してもらい、そこで米作りをして自分のルートで販売するというビジネスモデルを構築することに挑みました。

「これが10町（※参照）の面積でできれば（取材時は7町）、ビジネスモデルとして認められ、私たちの考えに共感してくれる仲間が各地に増えていけば、農家が豊かになると思います」。

「農業人」は組織化するのではなく、社員は一人で、あくまでもこの事業の目的に共感してくれる仲間を増やします。これを機に福岡同友会のおがた支部にも籍を置きました。田植えなど繁忙期には地域の経営者20人程が集まるそうです。

※1町（1ヘクタール）10000㎡、3000坪  
 ※10反（100畝）1000歩（坪）  
 ※1反から約500kgのコメができますと言われます。

るため、あすなろ塾・経営指針作成セミナーに改めて参加する予定です。

**依存先の多い会社**

記憶に新しいところでは、昨夏の猛暑により地域により米の収穫減、地震・台風などの災害に備えての買い溜め、インバウンドによる需要増により市場は品不足になり、結果として米の価格は押し・小売りとも高騰しました。価格が上がることを望む須藤さんですが、気持ちはやや複雑なようです。「環境に影響を受けることなく、農家の生活を豊かにすることを望んでいます」。

取材の最後に須藤さんの考える自立型企業について伺いました。「依存先が多い事ですかね。販売することにおいては販路が多いと売上げが上がりやすし、安定します。また何か困



幼稚園児の芋掘り体験と感謝状

**須藤さんの2つの「生きる目的」**

こうして熱く語る須藤さんを支えているのは2つの『生きる目的』です。

**(I) 世界平和**

ここでいま一度『福祉人』で策定した行動指針を振り返ります。

その人と、その人に関わる「全ての人が幸福」となれるよう、その実現のために本気で考え、しない事は何もありません。

「みんながこういう考えを持てば戦争がなくなり平和な世界ができるはずですよ」。

**(II) 永の生命**

「例えば、配食の事業で私がお弁当を作らなければならぬとします。しかし理念の共有をして下さる人がいてお弁当を作ってくれば私たちの時間は2倍になります」。こうして同じ志を持ってくれる人を増やしていくことです。

**米づくりに挑む**

米づくりといっても大変手間のかかる仕事です。

種もみ（お米の種）↓苗づくり↓田おこし↓しろかき（田んぼを平らにすること）↓田植え↓水の調整↓雑草を抜く↓稲刈り↓はさがけ（乾燥）↓脱穀↓もみすり↓精米。お米という漢字が八十八の手間を表しています。

たことがあるときには相談したり手段を提供してくれたりすることができると思います」。

須藤さんは『農業のビジネスモデル』を構築しそれに共感してくれる仲間を増やすことに果敢に挑んでいます。

「米づくりは本来楽しい事です。自分で作ったお米を食べると感動しますよ」と笑顔で締められました。取材協力ありがとうございました。



**農業人 須藤 司 氏**

創業 2020年  
 住所 遠賀郡遠賀別府3601-1  
 電話 090-3736-6064

事業概要 本来の力に着目し、育成から保管までを一貫管理。体に優しい直販品を耕作しています。



# 第29期 役員研修大学レポート

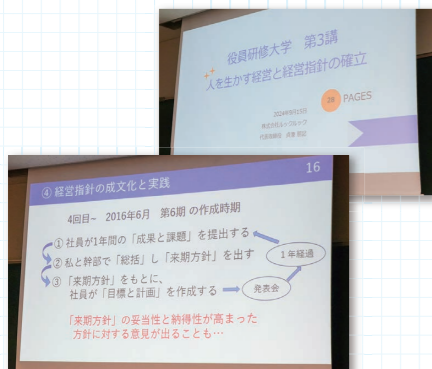


グループ討論の様子



撮影・文：株式会社 ココスイメージ 富谷 正弘（玄海支部）

第29期役員研修大学に取材を兼ねて参加いたしました。体験レポートです。  
2024年9月14日から15日の1泊2日のスケジュールで大野城市にある、福岡自治研修センターにて開催されました。参加者はスタッフも含め22名です。



グループ討論の様子



懇親会スタート



懇親会の様子

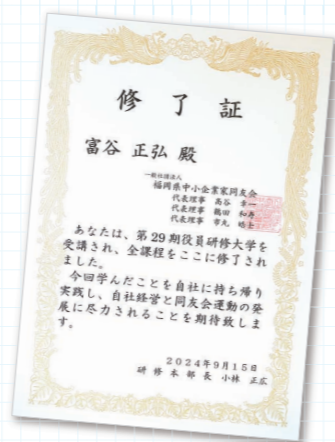


## 役員研修大学に参加しての感想

『同友会運動の歴史と理念』報告者 国吉さんの報告を聞き同友会の歴史を学ぶ事ができ有意義な時間でした。

また、グループ討論でお互いの経営課題を本音で出し合い『学びあう場所』の大事さを新ためて感じた次第です。1泊2日でしたので懇親会にてお酒を飲みつつ交流出来た事も楽しい時間を持つ事ができ感謝いたします。各支部の役員候補の方にはお勧めの研修です。

以上フォトレポートでした。



## 9月14日

13:00 開講

坂本敏弘さん司会のもとで開講

第1講『同友会運動の歴史と理念』

報告者 国吉昌晴氏 中同協 顧問

第2講『運動を推進するリーダーの役割』

報告者 井上明氏 富士食品(株) 代表取締役社長

グループ討論テーマ

『役員として同友会運動をどのようにリードしますか』

グループ発表

質問の回答

18:00 懇親会



第1講 報告者 国吉昌晴氏



第2講 報告者 井上明氏

## 9月15日

9:00 開講

第3講『人を生かす経営と経営指針の確立』

報告者 貞兼朋記氏 (株)ルックルック 代表取締役

グループ討論テーマ

『労使見解を具体的に経営指針に落とし込み、どのように社員と共に実践していきますか』

グループ発表

修了証受領

研修本部長挨拶

11:50 終了



第3講 報告者 貞兼朋記氏



# 新会員フォローアップセミナー



第200回（10月開催）現地



セミナーの様子

当セミナーも200回を迎えました。これまで運営にご尽力いただいた皆様に感謝申し上げます。

さて今回は10月24日に開催されました。今回参加された新会員は29人でした。次回は1月23日(木)開催です。ご参加お待ちしております。

新会員フォローアップセミナー 部会長 松井 竜介(南支部)



第200回（10月開催）Zoom

# 同友会活動のステップアップ! 役員研修大学

役員研修大学は、同友会の役員みなさんに受講をお願いしている研修会です。同友会のより深い学びにつながる役員研修大学についてお話を伺いました。

- 聞き手 広報部会 南 史聡 (西支部)
- 語り手 研修本部長 小林 正広氏 (ひびき支部)
- 語り手 座長 坂本 敏弘氏 (北九州支部)



小林 正広氏

**南** まず、役員研修大学というのはどういふことを勉強するのでしょうか。  
**小林** 役員研修大学は、役員になるときは来て下さいねということ、同友会の役員に向けた勉強会になります。もともとは二日かけて五講やっていたのですが、試行錯誤を繰り返しながら、今は「同友会運動の歴史と理念」、「人を生かす経営と経営指針の確立」、「運動を推進するリーダーの役割」の三部構成で実施しています。直近では九月に、土曜日の午後から日曜日の午前中まで開催しました。  
**南** どんな方が受講されているのでしょうか。  
**小林** 本当は副ブロック長になった方から参加していただきたいのですが、今は支部長や副支部長くらいの方が中心になって参加されています。私も副支部長になって受講しましたので、役員になったら受講してくださいということもあれば

と周知が必要だと思います。  
**南** 役員研修大学を受講することの意義というのはどんなことでしょうか。  
**小林** 例えば同友会の歴史や理念は新会員フォローアップセミナーでも受講しますが、入ったばかりではピンときませんが、ただ、同友会で学びを深めたり、経営体験を話したりする中で、改めて歴史や理念を聞くと、自分の中で腑に落ちる部分が出てきます。役員になったら、そういう学びができますね。  
 それと、個人的には、同友会理念の体現者になってほしいという思いがあります。会員の皆さんは同友会の理念に賛同して入会していると思いますが、同友会活動をやり続けるには、先輩たちがどう知るべきだし、その基礎の上に座らせてもらっている僕たちは、これからの経営者に何ができるかを考えてほしいと思います。  
**坂本** そうですね。私はもう一つ、同友会の語り部になっていただきたいと考えています。今回は、役員研修大学の格を上げようということで、中小企業家同友会全国協議会顧問の国吉昌晴さんに来ていただいて、もう一度同友会の歴史と理念をしっかりと学ぶ場としました。その後、理念を実践する経営体験の報告をしていただいて、グループ討論で深く理解

すること、同友会で勉強をするとうなるかを学びました。これを体現して、語っていただきたいと思えます。そして、そういう役員さんを増やしていけば、会員増強にもつながると思います。そのステップとして、役員研修大学があると思っています。  
**小林** その通りですね。ブロック長や副ブロック長をやってほしいと言われたときに返事をためらう方がいるなら、それは役員が大変そうに見えるかもしれないですね。同友会は自分の会社を伸ばしなくて自分で入ってきているのですから、役員のみならずが嬉々として同友会活動をして会社を伸ばしていくことで、同友会活動と会社経営が表裏一体ということも周りに伝えられるし、会員も増えていくように思います。  
 取材協力、ありがとうございました。



坂本 敏弘氏

## 2024年度広報情報化交流会

# 言葉とAI

2025/2/8 (SAT) 13:00-17:00  
 JR博多シティ9階会議場 (会議室1)

### Chat GPTが開く中小企業の未来

有限会社アイビージー  
**大神 与志雄氏**  
 (福友和支部)

ファジリス 代表  
**長嶺 雅透氏**  
 (玄海支部)

パーシモンズ 代表  
**柿元 千徳氏**  
 (りょうちく支部)

参加費は無料です。開催後は懇親会を予定しています。懇親会参加費:5,000円  
 2月1日以降のキャンセルにつきましてはキャンセル料が発生します。

お申込み・お問い合わせ (一社)福岡県中小企業家同友会 事務局担当:有馬  
 TEL 092-686-1234 FAX 092-686-1230



**4 水 19:05~21:00** 国際交流委員会

留学生と企業の交流サロン2024  
意見交換会 「企業の人と積極的に話しましょう」

■天神スカイホール 西日本新聞会館16階  
福岡市中央区天神1-4-1 ☎092-712-8855

**5 木 18:30~20:30** 飯塚支部  
12月例会

忘年会

■ひこざ 飯塚市飯塚1-30 ☎0948-22-5297

**6 金 18:30~21:00** 中央支部  
12月例会

「心ある黒字企業」に向かって、  
皆んなでカンパ〜イ♪♪♪

■博多中洲 旬菜万葉  
福岡市博多区中洲5-2-18 THE LIVELY福岡B-1F ☎092-262-2001

**6 金 19:00~21:00** かすや支部  
12月例会

望年例会「2024年総決算の振り返り」

■うえずたん 柚須駅前店  
糟屋郡粕屋町柚須126-2 ☎092-937-2828

**9 月 18:30~21:00** 経営労働委員会  
勉強会

社員と経営指針を見直す(仮)

■福岡県中小企業振興センター 202会議室  
福岡市博多区吉塚本町9-15 2F ☎092-686-1234

**13 金 18:30~20:30** のおがた支部  
12月例会

望年会  
何かをするかより誰とするか

■ライジング迎賓館 直方市古町17-14 ☎0949-22-3313

**13 金 18:30~19:00** 有明支部  
12月例会

今年の反省と来年の抱負を語る

■福喜別館 大川市三丸1755-2 ☎0944-89-6080

**16 月 19:00~20:00** 大牟田支部  
12月例会

振り返り例会2024  
~経営人として次の一手~

■グランドホテル清風荘 大牟田市原山町2-4 ☎0944-56-1212

**17 火 16:30~21:00** 西・青年支部  
12月例会

クリスマス例会  
~西支部・青年支部全員集合~

■アークホテルロイヤル福岡天神  
福岡市中央区天神3-13-20 ☎092-724-2222

**17 火 18:30~20:40** 福友愛・福友和支部  
12月例会

来てみれば…わかる! 語らう! 未来が見える! 望年会

■八仙閣本店 福岡市博多区博多駅東2-7-27 ☎092-411-8000

**17 火 19:00~22:30** 玄海支部  
12月例会

2024同友会お悩み相談会

■ゲイツセブン  
福岡市博多区中洲3-7-24 ゲイツビル7階 ☎092-283-0577

**17 火 18:30~21:00** 北九州支部  
12月例会

良い年を迎えましょう  
北九州支部 大望年会

■ザ・ハウスオブ・リンドマール  
北九州市八幡西区東神原町2-23 ☎093-642-3659

**18 水 18:00~21:00** 東支部  
12月例会

団結! チーム! 絆!

■ザ・ロイヤルクラシック福岡  
福岡市東区千早4-23-27 ☎092-672-1600

**18 水 18:30~20:30** 糸島支部  
12月例会

条例に基づく人材活性化への取り組み  
地域の声を実現に向けて

■伊都の湯どころ 糸島市泊765 元気くらぶ内 ☎092-331-1000  
■平川 祐二氏 有限会社日高ボーリング工業 代表取締役 (糸島支部)

**19 木 18:40~20:40** 福博支部  
12月例会

忘年例会

■アンダースピン  
福岡市博多区中洲3-7-24 ゲイツ8F ☎092-282-7255

**19 木 17:30~21:00** 筑紫支部  
12月例会

同友会筑紫支部 望年会

■太宰府Jボール 太宰府市都府楼南5-6-12 ☎092-921-1918  
吉丁 筑紫野市二日市中央1-8-38 ☎092-921-3838

**19 木 18:30~21:00** ひびき支部  
12月例会


支部会員に自社や自分をもっと知ってもらおう  
会員表彰及び懇親例会

■Kitchenいしばし 北九州市八幡西区熊手3-3-30 ☎080-5209-7100

**19 木 18:30~21:00** 博多支部  
12月例会

望年例会 I'll be there  
会員ブロックでの学びを饗宴 会員の個性が光る狂宴

■東映ホテル 2階 福岡市中央区高砂1-1-23 ☎092-524-2121

 **2024年度 第6回 理事会だより**

開催日時	2024年10月23日(水) 14時30分~17時27分
会場	福岡県中小企業振興センタービル 401会議室
出席数	32名(出席率80%)

議長 小林 正広(理事)

- 会員増強**  
入会27名、退会25名(うち会費未収による強制退会1名)、休会復帰者1名が承認された。10月承認会員数は2,353名。
- 経営指針の成文化率と実践率の声掛け状況**  
声かけ率は全体で33%を超えた。まず全ての支部が30%を超えることを目標に、議案書を振り返り、数字を追うだけでなく会員の経営が良くなるための運動として取り組んでいただきたいたいと呼び掛けがあった。
- 地域づくり本部より**  
2024年10月27日(日) 投票予定の衆議院議員選挙において、福岡県内選挙区の予定候補者に中小企業政策に関する公開質問状を送付し、回答結果については福岡同友会公式ホームページ等を通じて、会員及び県民に周知することが承認された。
- 同友会づくり本部より**  
11月26日(火)開催予定 会員増強部とかすや支部 あいのり例会(かすや支部11月例会)についてe.doyuにて全会員に配信することが承認された。
- 総務財政室より FF入札の全会員発送について**  
・11月26日に入札説明会を行う予定のため、月刊同友等11月号に入札説明会の案内を行い、e.doyuにて入札説明会の案内を全会員に配信することが承認された。
- 役員選考委員会より**  
次期代表理事候補者を2名として、定時総会議案として提案することが承認された。
- 中同協関係 全研愛媛参加目標について**  
福岡同友会からの参加目標を40名とすることが承認された。
- 「全体構想」にむけた協議**  
5ステップを作り、本部・室・委員会、地区・支部が目的を達成するためにどう動いていかななくてはならないのか継続協議とする。
- 会員企業の動き**  
■経営革新計画承認企業2024年9月(県14件/うち同友会会員企業1件)  
※累計で福岡県全体では9,859件、会員企業は延べ573件です。  
・(株)Function 二又 雄太郎氏 (青年支部)  
<テーマ> 営業利益の改善を目的とした国内初となる韓国製UVカットフィルムの販売

★理事会議事録の詳細はe.doyuの「文書管理」にある「理事会議事録」にてご覧ください。

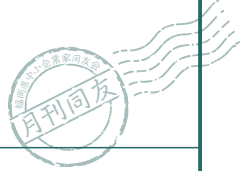




# 会員 Pick up!

## 経営者フォーラム 交流会 フォトレポート

撮影・文/株式会社ココスイメージ 富谷 正弘(玄海支部)



『経営者フォーラム2024』がホテルニューオータニ博多にて10月15日に開催されました。交流会のフォトレポートをお届けいたします。



乾杯!



「ちんどん鈴乃家」メンバー



実行委員長 中原亜希子さん



香川同友会から青全交のプレゼン



「ちんどん鈴乃家」代表者 新井理恵子さん

ホテルニューオータニ博多を会場に会員約460人が集まり交流会が開催されました。

かすや支部の『ちんどん鈴乃家』さんのアトラクションもあり、チンドンのリズムで会場の空気が大いに盛り上がり、遠くからは香川同友会から、第53回青全交のプレゼンの為に11名の会員の参加があり、やんやの掛け声が上がりました。各分科会での学びや体験報告を肴に、杯も進みます。

参加者の皆さんの笑顔が印象的でした。参加者の皆さんの笑顔がフォーラムの成功を物語っています。あっと言う間の時間でした!

『経営者フォーラム2024』実行委員長 中原亜希子さん(ひびき支部)お疲れ様でした。そしてありがとうございました。

あなたの記事でこのコーナーを飾りませんか?

### みなさんの投稿をお待ちしています。

**投稿方法** 郵送、メールいずれも可。  
表題に「月刊同友 会員からの投稿」とご記載ください。

**テーマ** 環境問題や、社会貢献、例会の様子、地域イベントなど、内容は自由です。

**送付先** 郵送/下記「月刊同友」編集部まで  
メール / a\_arma@fukuoka.doyu.jp (福岡同友会事務局 有馬まで)

### 一般社団法人 福岡県中小企業家同友会「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号 福岡県中小企業振興センタービル11階  
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

#### 【北九州地区センター】

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39  
クルーズ浅野ビル 808号  
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

#### 【県南地区センター】

〒830-0038 久留米市西町1367-1  
祥栄ビル2階  
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366



【デザインQR】

### 今月の『月刊同友』はいかがでしたか?

月刊同友では、皆様からのご意見・ご要望を募集しています。よろしければQRコードからアンケートにお答えください。

約4分で回答できます 回答締切 12月31日(火)

環境を守るため森林認証紙を使用しています。